



## 市民の皆さんへ

平成27年度の日本経済は、海外景気の下振れなど、景気を下押しするリスクに留意する必要があるものの、平成26年12月に政府が策定した「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に示された各種政策の推進などにより、雇用・所得環境が引き続き改善し、好循環がさらに進展するとともに、堅調な民需に支えられた景気回復が見込まれています。

このような中で、矢板市の財政は、歳入の根幹である市税収入が伸び悩み、平成25年度決算では6年連続の減少となり、ピーク時の平成19年度と比較して約10億円減少するなど、自主財源を確保することが難しい状況が続いています。一方、歳出においては、福祉関係の扶助費、介護保険や国民健康保険への繰出金が増加を続けている状況であるため、柔軟性に欠いた財政運営になっています。

しかしながら、平成27年度は、市政運営の指針である「第2次21世紀矢板市総合計画」の前期基本計画が最終年度になります。そのため、財政環境の先行きを見通すことが難しい中であっても、「総合計画」に掲げた重点計画の着実な推進を図ることはもちろんのこと、新たな行財政需要にも優先順位を考慮しつつ、的確に対応していく必要があるため、限られた財源の重点的・効率的な配分に徹する方針で編成を行ってまいりました。

この予算特集号は、市の財政状況や予算がどのように使われているのかを分かりやすく表現することを心がけ作成しました。市の財政状況や事業をお知らせすることは、市民と行政が協働したまちづくりを進めていくためにはとても大切なことであると考えています。

市民の皆さんが、市の財政や事業を身近に感じ、少しでも関心をもっていただくきっかけとなれば幸いです。

矢板市長 遠藤 忠

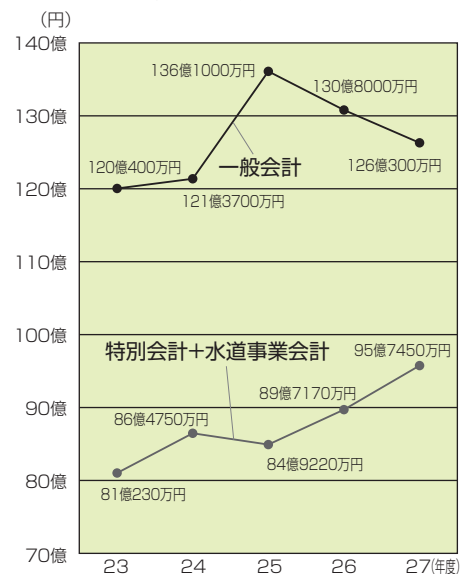
## 矢板市の今年度予算

# 126億300万円（一般会計）

### 会計別予算額

区 分	平成27年度 A	平成26年度 B	増減額 A - B	伸び率 %	
一 般 会 計	126億300万円	130億8000万円	△4億7700万円	△3.6%	
特 別 会 計	介 護 保 険	24億7480万円	23億2920万円	1億4560万円	6.3%
	国 民 健 康 保 険	44億8270万円	39億4580万円	5億3690万円	13.6%
	後 期 高 齢 者 医 療	3億3620万円	3億2730万円	890万円	2.7%
	農 業 集 落 排 水 事 業	5500万円	5500万円		0.0%
	公 共 下 水 道 事 業	8億7580万円	9億400万円	△2820万円	△3.1%
	コリーナ矢板排水処理事業	1760万円	1600万円	160万円	10.0%
	木 幡 宅 地 造 成 事 業	1億9320万円	2億3280万円	△3960万円	△17.0%
小 計	84億3530万円	78億1010万円	6億2520万円	8.0%	
水 道 事 業 会 計	11億3920万円	11億6160万円	△2240万円	△1.9%	
合 計	221億7750万円	220億5170万円	1億2580万円	0.6%	

### 当初予算の推移

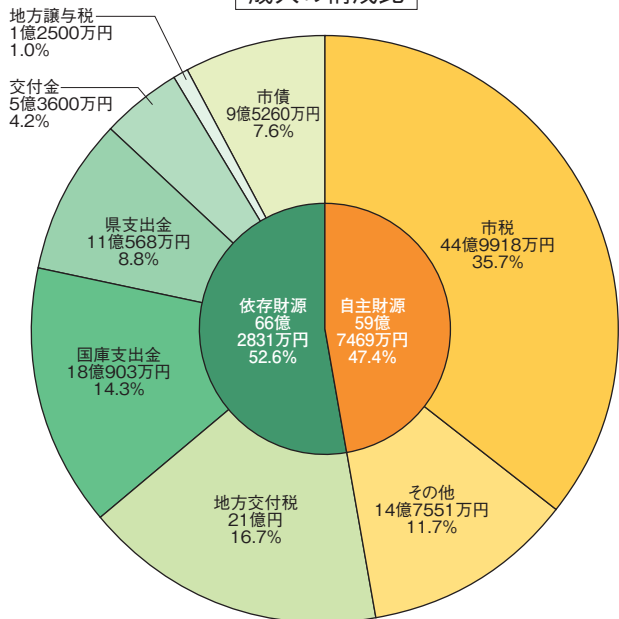


一般会計／市の基本となる会計

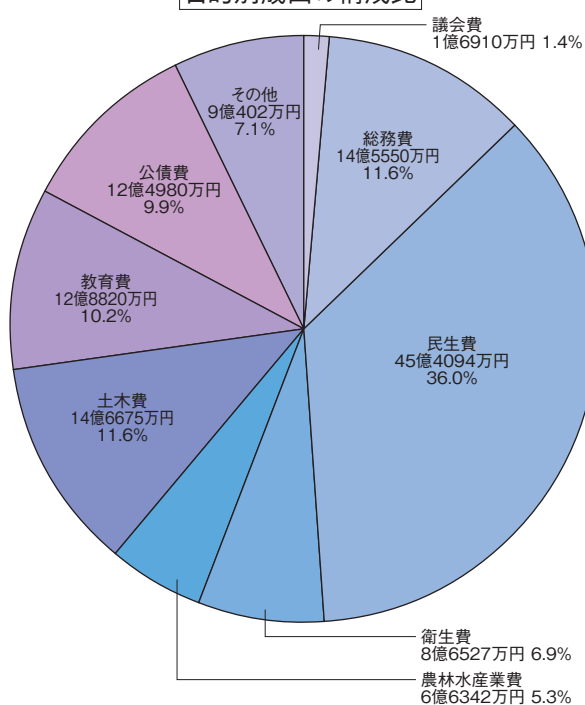
特別会計／特定の歳入を特定の事業に充て、一般の会計と区分して経理する会計

# 予算の各構成比

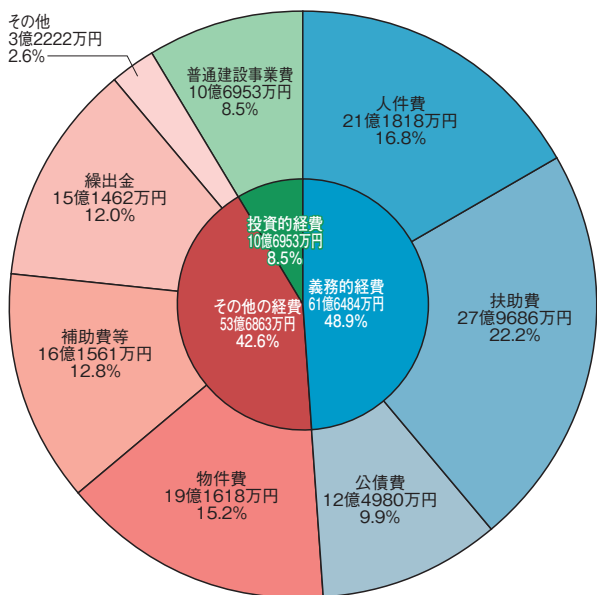
歳入の構成比



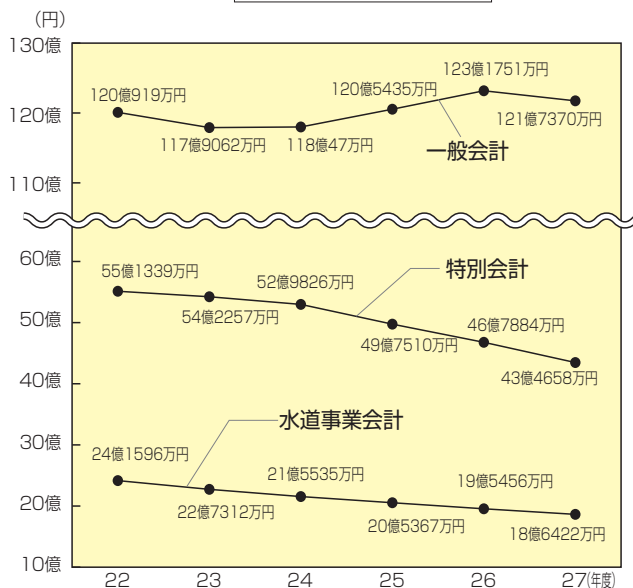
目的別歳出の構成比



性質別歳出の構成比



市債残高グラフ



## 【歳入】

市税のうち、個人市民税及び法人市民税は国の経済対策等の効果により増加、また、固定資産税は地価の下落、評価替などの影響により減少する見込みです。市税は平成19年度をピークに減少を続け、ピーク時と比較すると11億5,000万円も減少しているため、一般財源の確保が厳しい状況が続いています。

※用語解説はP20をご覧ください。

## 【歳出】

民生費は、障害者自立支援事業や生活保護費などの扶助費、介護保険や国民健康保険特別会計への繰出金の増加などにより、1億800万円の増となり、予算総額の3分の1以上を占めている状況です。

一方、投資的経費は片岡地区市街地整備事業や造成宅地滑動崩落緊急対策事業などが減少したことにより、約7億7,100万円の大幅な減となっています。